

プレスリリース

2025 年 11 月 18 日

報道関係者各位

AutoForm ProgDie R13 – より柔軟な順送金型のプレス成形工程を実現

プレス成形プロセスおよび BiW アセンブリ・プロセスのソフトウェア・ソリューションを提供する世界有数のサプライヤーであるオートフォーム社は、最新のソフトウェア・バージョン AutoForm ProgDie R13 を発表しました。このバージョンには、順送金型に携わる技術者向けに開発された新機能や拡張機能が実装されています。さらに AutoForm ProgDie R13 の特長としてファイル・サイズの縮小が挙げられます。結果評価の精度に対する妥協はせず、またエンジニアリング的な判断に支障をきたすことなく、シミュレーション・ファイルの容量を大幅に縮小することができます。

AutoForm ProgDie R13 には、順送金型メーカーに有用な新機能や拡張機能が実装されています。これまで AutoForm Forming のみに実装されていた自己対称機能が、AutoForm ProgDie R13 にも導入されました。自己対称の半分またはフルサイズの部品をインポートすると、フルストリップのデザインを容易に設定できます。そして自己対称機能は設計業務全体で有効活用できます。また AutoForm ProgDie R13 では、1 つのストリップ・レイアウト内で 2 つの独立した自己対称部品を扱うことができる独自の機能もご利用いただけます。これまでよりさらに詳細なレイアウトを検討できるため、最小限の材料使用で最適化されたストリップ・レイアウトをデザインすることができます。

AutoForm ProgDie R13 では、3D ストリップ計画の作成をドラッグアンドドロップで直感的に操作できる 3D デザイン・インターフェイスが実装され、設計業務の無駄が排除されます。主な機能強化として、形状や穴などの独立した形状フィーチャーを自由に並べ替えたり、グループ化したり、ストリップ・レイアウト内で直接調整することができるようになりました。形状フィーチャーの順序は後にストリップ・レイアウトで直接配置できるため、後続の作業順を気にすることなく、設計業務に集中することができます。

この最新バージョンでは、プレス荷重の評価機能が強化されています。これまでプレス荷重は全工程を同期したプレス成形工程のタイムステップのみで計算され、これらのステップの中間の挙動は考慮されていませんでした。AutoForm ProgDie R13 では、中間のタイムステップも考慮するため、より高精度な評価を実施できます。プレス荷重を詳細に把握することで、不具合の可能性を素早く特定し、順送金型のプレス成形工程におけるプレス荷重の評価について理解がより深まります。

オートフォーム・グループ CMO のマーク・トマは、以下のように述べています。「AutoForm ProgDie R13 では順送金型を用いたプレス成形の工程設計をより柔軟に行うことができ、また工程をより深く理解することで、実際に生じる不具合に素早く対応することが可能になります」

オートフォーム社について

オートフォーム社は、プレス成形および BiW アセンブリ工程のソフトウェア・ソリューションを提供しています。500 名以上の社員を擁するオートフォーム社は、製品の製造可能性、金型および材料のコスト計算、ダイフェース設計、バーチャルなプレス成形、そして BiW アセンブリ工程の最適化に対応するソフトウェアのリーディング・プロバイダーとして広く認知されています。大手自動車メーカー 20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、スウェーデン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。その他 10 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.autoform.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

オートフォームジャパン株式会社 担当: 坂本

〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 3 番 17 号 MOMENTO SHIODOME 3 階

TEL: 03-6459-0881 / E-mail: marketing@autoform.jp



AutoForm ProgDie R13 には、順送金型メーカーに有用な新機能や拡張機能が実装されています。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。